

資料 3

長崎県内の肺がん検診の実績について

〔 地域保健・健康増進事業報告(厚労省)
2023.03 公表値より集計 〕

2024.2.28

長崎県保健医療対策協議会
がん対策部会肺がん委員会

▶1.肺がん検診受診率の状況

- ▶ 地域保健・健康増進事業報告（厚労省）公表値によると、令和3年度（長崎県）は7.7%で、全国平均 6.0%を上回り、全国15位。

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国	17.3	16.0	16.1	11.2	7.7	7.4	7.1	6.8	5.5	6.0
長崎	21.5	21.5	20.8	18.0	9.6	9.5	9.2	8.8	6.9	7.7

算出年齢： → 40歳以上 ← 40～69歳 ← 「就業者数」を除外しない

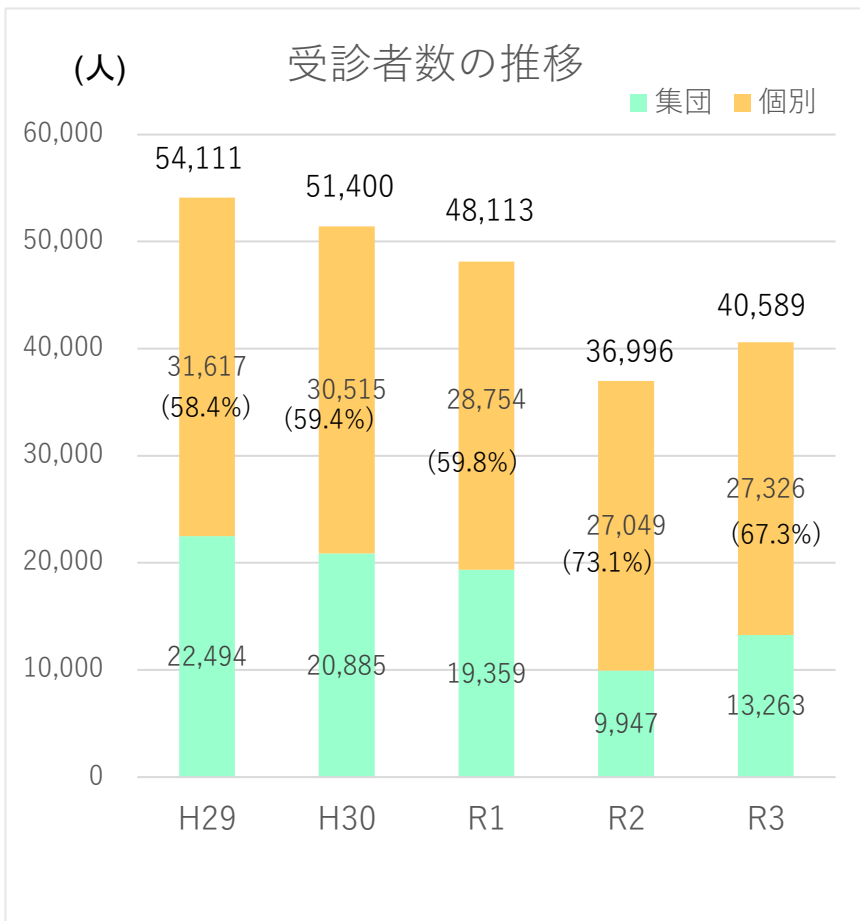
※算出年齢、対象者の計上方法が年度によって変更されているので、H27年度以前の経年的な比較はできない。

※受診率が比較可能なH28以降で比較すると、全国・長崎ともに年々低下している。特にR2は新型コロナ感染拡大の影響があると思われる。

▶ 2. 肺がん検診受診者数と受診率（40～69歳）

1) 受診者数の推移

- ▶ 受診者数は、年々減少している。
R2年度は減少し、R3年度は増加したものの、R1年度まで回復していない。



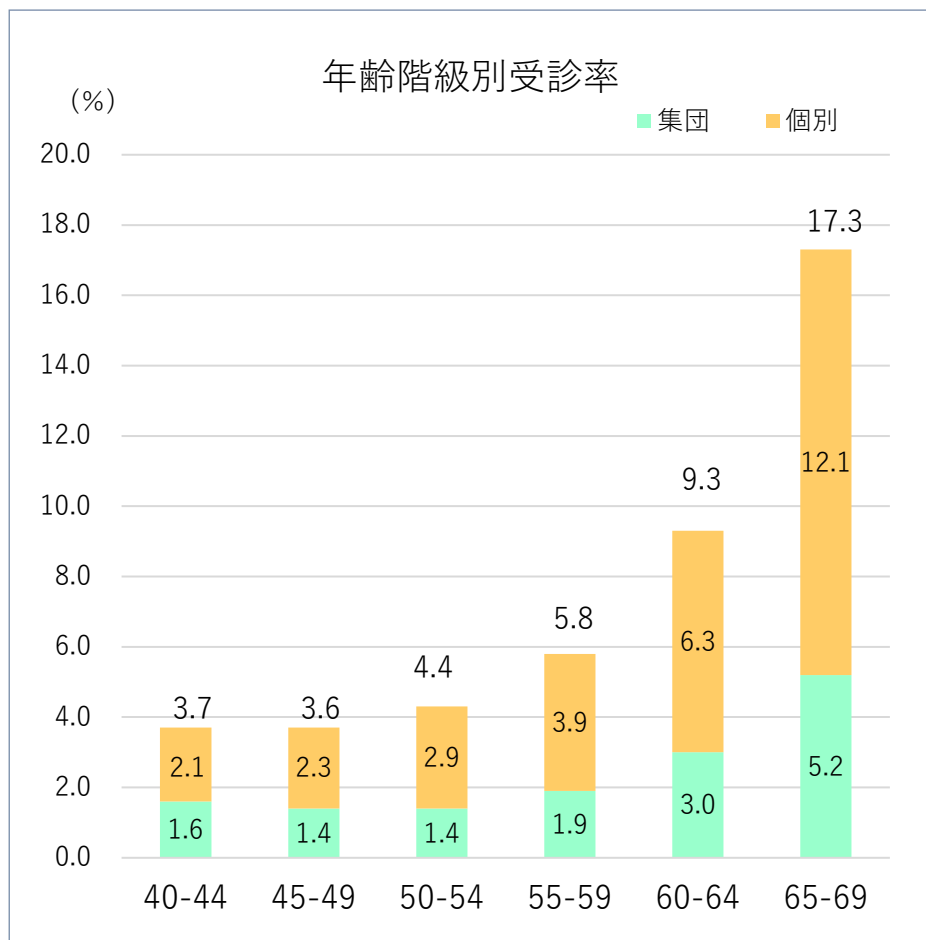
(40-69歳)		H29	H30	R1	R2	R3	喀痰細胞診(R3)
集団	男	8,842	8,015	7,449	3,729	4,908	378
	女	13,652	12,870	11,910	6,281	8,355	46
	計	22,494	20,885	19,359	9,947	13,263	424
個別	男	11,723	11,447	10,774	10,138	10,062	236
	女	19,894	19,068	17,980	16,911	17,264	35
	計	31,617	30,515	28,754	27,049	27,326	271
合計	男	20,565	19,462	18,223	13,867	14,970	614
	女	33,546	31,938	29,890	23,129	25,619	81
	計	54,111	51,400	48,113	36,996	40,589	695

【参考】

全年齢	H29	H30	R1	R2	R3	
	103,698	103,716	107,485	85,377	93,511	1,491

2)令和 2年度年齢階級別受診率

▶ 受診率は、年齢階級が高くなるにつれ、集団検診、個別検診ともに高くなる傾向がみられた。また、年齢階級が高くなるにつれ、個別検診の割合が大きくなる傾向がみられた。



年齢階級	対象者数	区分	受診者数	受診率
40-44	75,931	集団	1,192	1.6
		個別	1,620	2.1
		計	2,812	3.7
45-49	87,441	集団	1,209	1.4
		個別	1,975	2.3
		計	3,184	3.6
50-54	85,606	集団	1,234	1.4
		個別	2,511	2.9
		計	3,745	4.4
55-59	81,606	集団	1,545	1.9
		個別	3,194	3.9
		計	4,739	5.8
60-64	91,113	集団	2,775	3.0
		個別	5,715	6.3
		計	8,490	9.3
65-69	102,108	集団	5,308	5.2
		個別	12,311	12.1
		計	17,619	17.3

3.令和2年度肺がん検診成績

(40~69歳)

1)令和2年度肺がん検診成績

区分	性別	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診						精検結果別人数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	I期がん割合 H/G	
					あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	I期がん H	臨床病期 I	がん疑い及び 未確定 J	がん以外の疾患 J				
																				F
長崎県	集団	男	3,729	64	1.7	53	82.8	1	1.6	10	15.6	15	※	0	0	0	38	0.00	0.00	0.0
		女	6,208	90	1.4	84	93.3	2	2.2	4	4.4	27	※	0	0	1	56	0.00	0.00	0.0
		計	9,937	154	1.5	137	89.0	3	1.9	14	9.1	42	※	0	0	1	94	0.00	0.00	0.0
	個別	男	10,139	265	2.6	224	84.5	23	8.7	18	6.8	95	9	2	11	109	3.40	0.09	22.2	
		女	16,913	327	1.9	285	87.2	21	6.4	20	6.1	145	8	4	18	114	2.45	0.05	50.0	
		計	27,052	592	2.2	509	86.0	44	7.4	38	6.4	240	17	6	29	223	2.87	0.06	35.3	
	合計	男	13,868	329	2.4	277	84.2	24	7.3	28	8.5	110	9	2	11	147	2.74	0.06	22.2	
		女	23,121	417	1.8	369	88.5	23	5.5	24	5.8	172	8	4	19	170	1.92	0.03	50.0	
		計	36,989	746	2.0	646	86.6	47	6.3	52	7.0	282	17	6	30	317	2.28	0.05	35.3	

【参考】

70歳以上	男	19,585	633	3.2	546	86.3	44	7.0	43	6.8	173	37	18	35	301	5.85	0.19	48.6
	女	28,798	736	2.6	663	90.1	45	6.1	28	3.8	264	26	16	40	333	3.53	0.09	61.5
	計	48,383	1,369	2.8	1,209	88.3	89	6.5	71	5.2	437	63	34	75	634	4.60	0.13	54.0

2)令和2年度喀痰細胞診成績

※喀痰対象は50歳以上

区分	性別	喀痰容器配布数 A	喀痰提出者 (受診者数) B	要精検者数 (判定D・E) C	要精検率 C/B	精検受診						精検結果別人数					陽性反応適中度 H/C	がん発見率 H/B	I期がん割合 I/H	
						あり D	精検受診率 D/C	なし E	精検未受診率 E/C	未把握 F	精検未把握率 F/C	異常なし G	がん H	I期がん I	臨床病期 I期がん I	がん疑い及び 未確定 J				がん以外の疾患 K
長崎県	集団	男	382	361	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		女	31	26	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		計	413	387	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	個別	男	242	237	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		女	39	36	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		計	281	273	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	合計	男	624	598	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		女	70	62	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
		計	694	660	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0

【参考】

70歳以上	男	725	684	5	0.7	1	20.0	2	40.0	2	40.0	0	1	0	0	0	20.00	0.15	0.0
	女	42	40	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.00	0.00	0.0
	計	767	724	5	0.7	1	20.0	2	40.0	2	40.0	0	1	0	0	0	20.00	0.14	0.0

3)令和2年度肺がん検診成績（初回受診者の成績）（再掲）

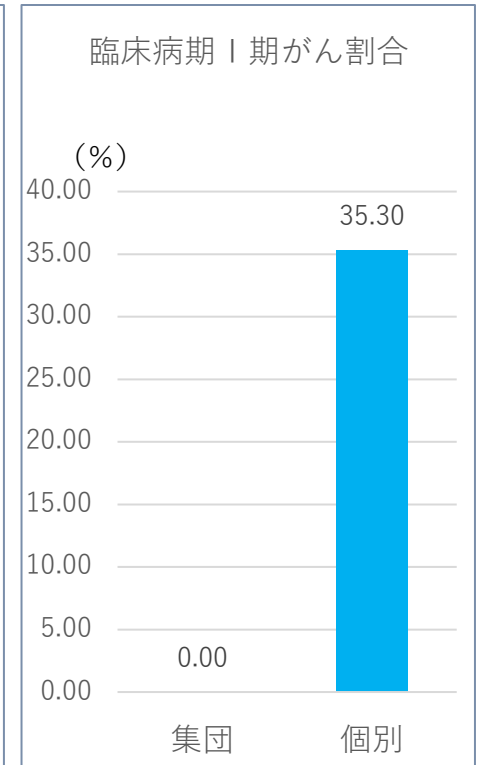
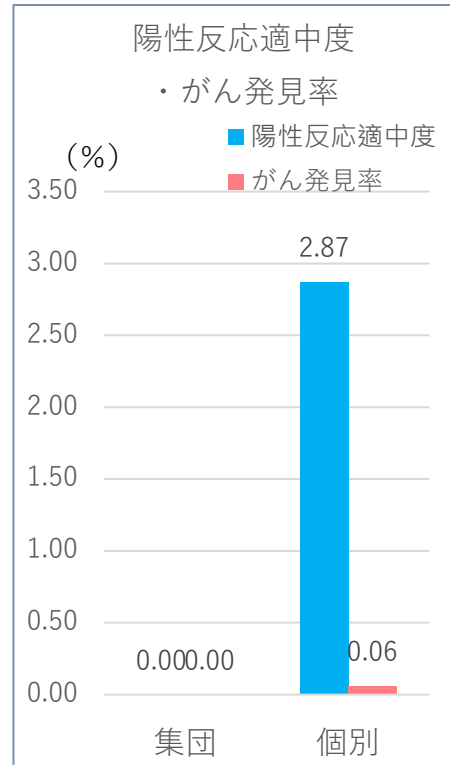
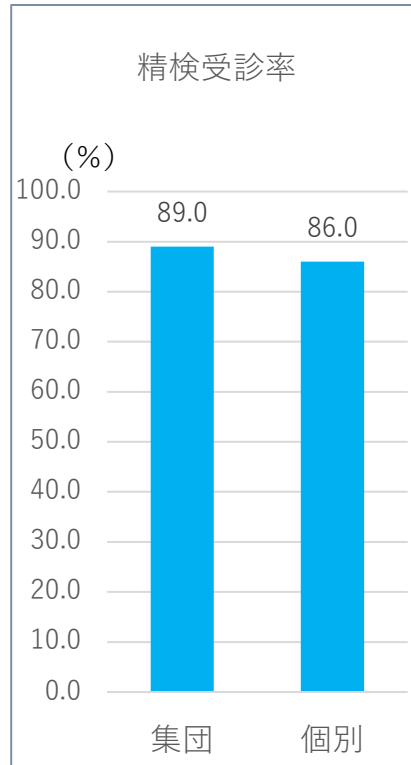
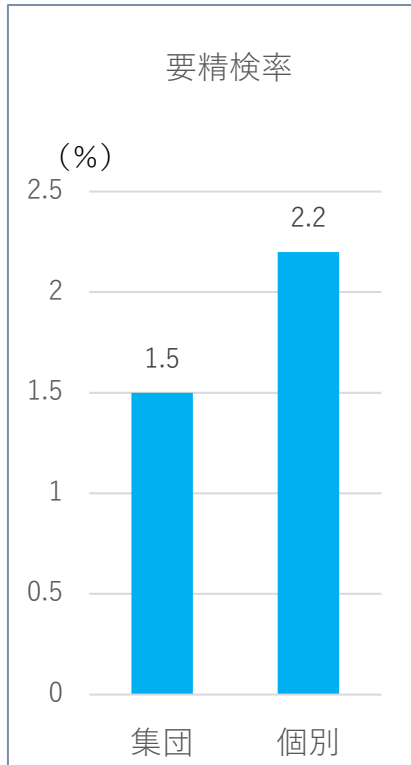
	区分	性別	受診者数 A	要精検者数 B	要精検率 B/A	精検受診						精検結果別人数						陽性反応適中度 G/B	がん発見率 G/A	I期がん割合 H/G
						あり C	精検受診率 C/B	なし D	精検未受診率 D/B	未把握 E	精検未把握率 E/B	異常なし F	がん G	I期がん H	臨床病期 I	がん疑い及び 未確定 I	がん以外の疾患 J			
長崎県	集団	男	1,023	26	2.5	21	80.8	0	0.0	5	19.2	5	0	0	0	16	0.00	0.00	0.0	
		女	1,707	33	1.9	30	90.9	1	3.0	2	6.1	10	0	0	0	20	0.00	0.00	0.0	
		計	2,730	59	2.2	51	86.4	1	1.7	7	11.9	15	0	0	0	36	0.00	0.00	0.0	
	個別	男	4,217	132	3.1	111	84.1	11	8.3	10	7.6	40	6	1	5	60	4.55	0.14	16.7	
		女	6,684	147	2.2	130	88.4	7	4.8	9	6.1	61	6	3	11	52	4.08	0.09	50.0	
		計	10,901	279	2.6	241	86.4	18	6.5	19	6.8	101	12	4	16	112	4.30	0.11	33.3	
	合計	男	5,240	158	3.0	132	83.5	11	7.0	15	9.5	45	6	1	5	76	3.80	0.11	16.7	
		女	8,391	180	2.1	160	88.9	8	4.4	11	6.1	71	6	3	11	72	3.33	0.07	50.0	
		計	13,631	338	2.5	292	86.4	19	5.6	26	7.7	116	12	4	16	148	3.55	0.09	33.3	

【参考】

70歳以上	男	5,246	216	4.1	177	81.9	17	7.9	22	10.2	50	16	7	12	99	7.41	0.30	43.8
	女	7,667	279	3.6	252	90.3	16	5.7	11	3.9	89	15	9	20	128	5.38	0.20	60.0
	計	12,913	495	3.8	429	86.7	33	6.7	33	6.7	139	31	16	32	227	6.26	0.24	51.6

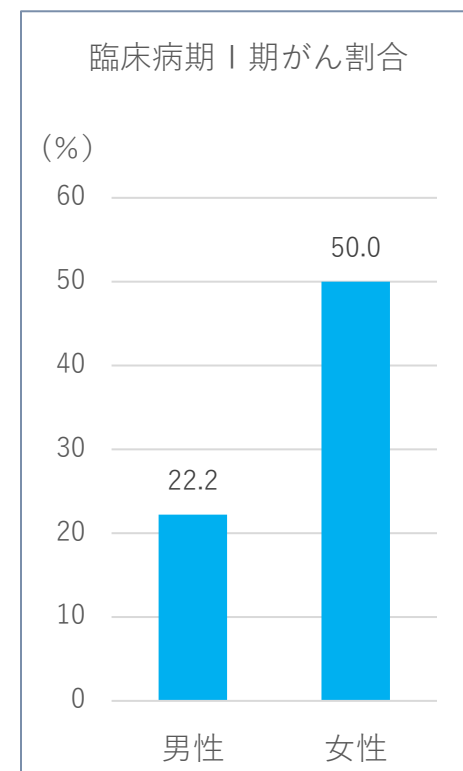
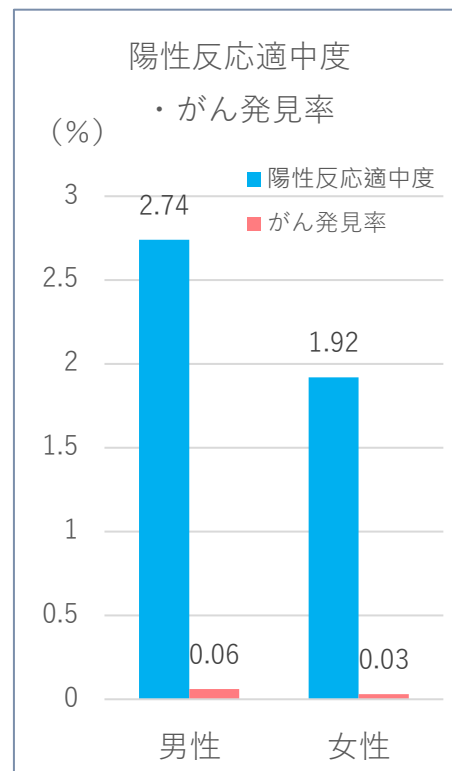
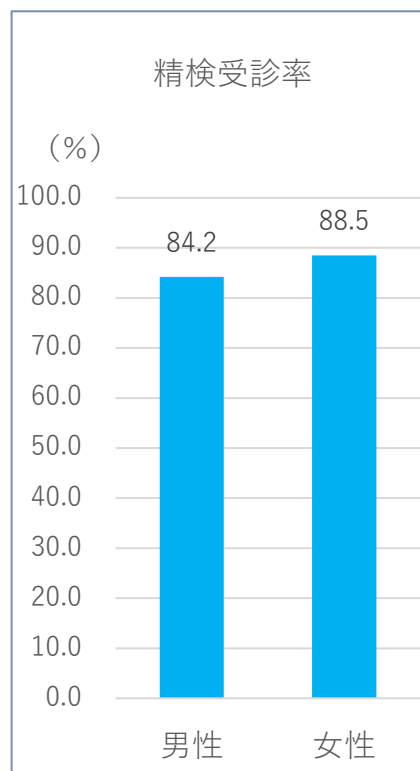
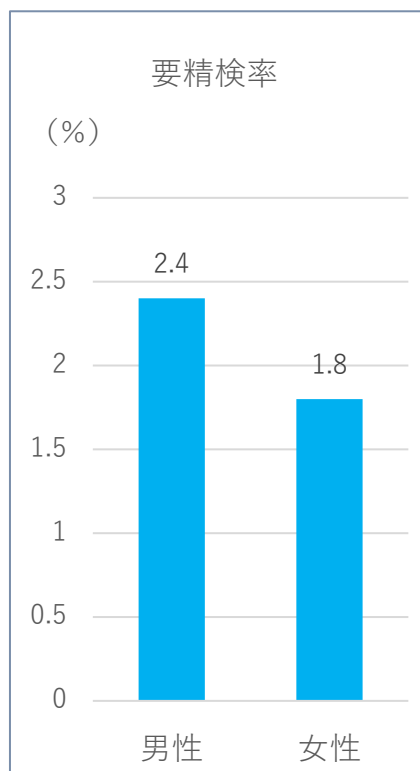
4) プロセス指標の検診形態別（集団・個別）の比較

- ▶ 要精検率は、集団検診より個別検診が高かった。
精検受診率は、個別検診より集団検診がやや高かった。



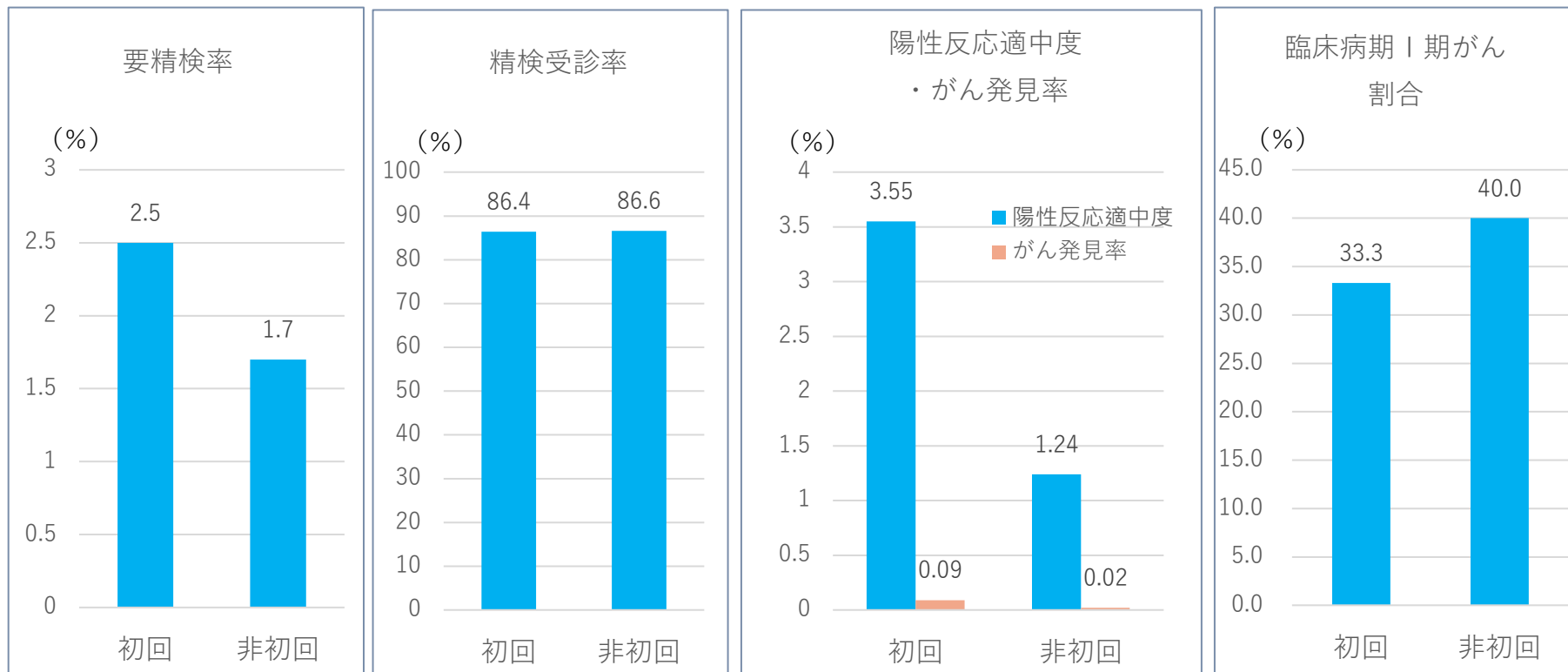
5) プロセス指標の男女別の比較

- ▶ 要精検率は女性より男性が高く、精検受診率はやや女性が高かった。
陽性反応適中度、がん発見率は男性が高かった。
発見がんに占める臨床病期Ⅰ期がんの割合は女性が高かった。



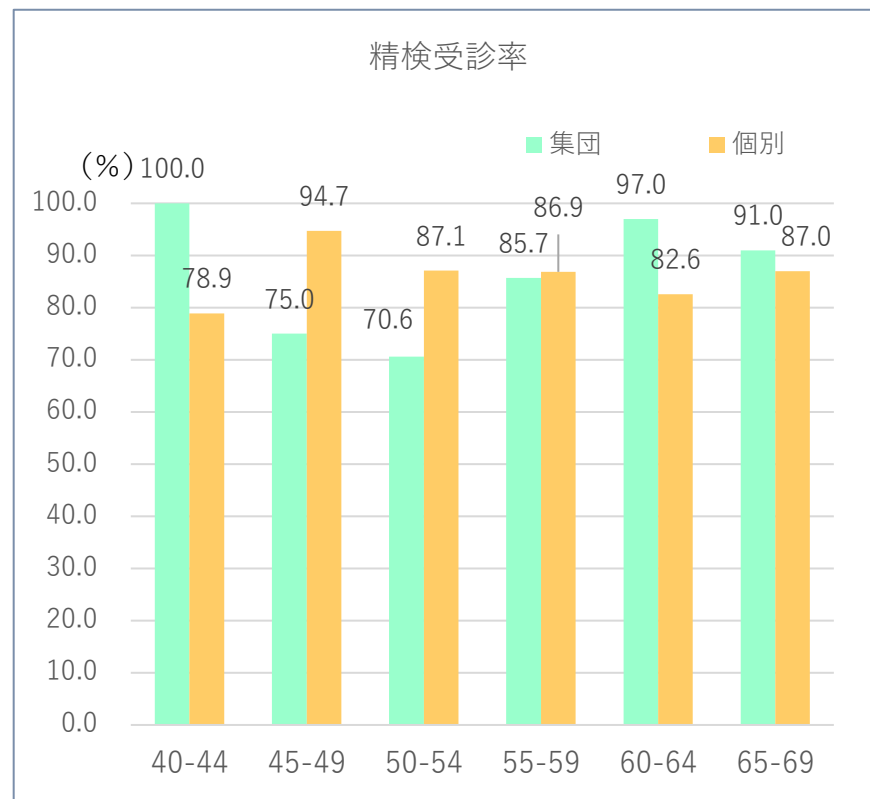
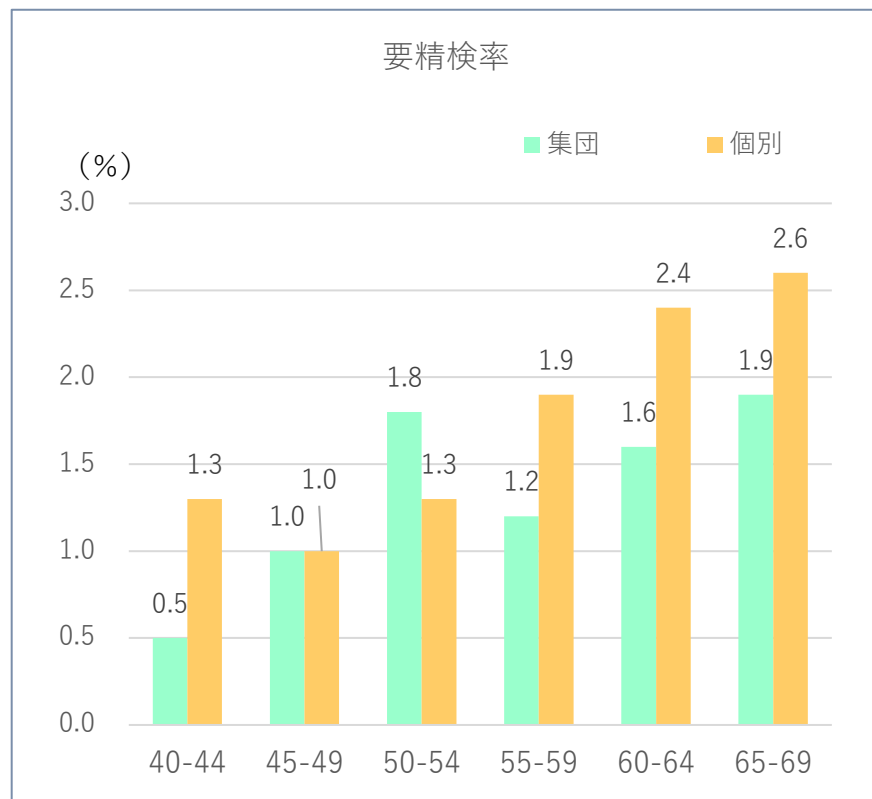
6) プロセス指標の受診歴別（初回・非初回）の比較

- ▶ 要精検率は非初回より初回が高かった。
- 精検受診率はあまり差がみられなかった。
- 陽性反応適中度、がん発見率は初回が高かった。
- 発見がんに占める臨床病期Ⅰ期がんの割合は非初回が高かった。

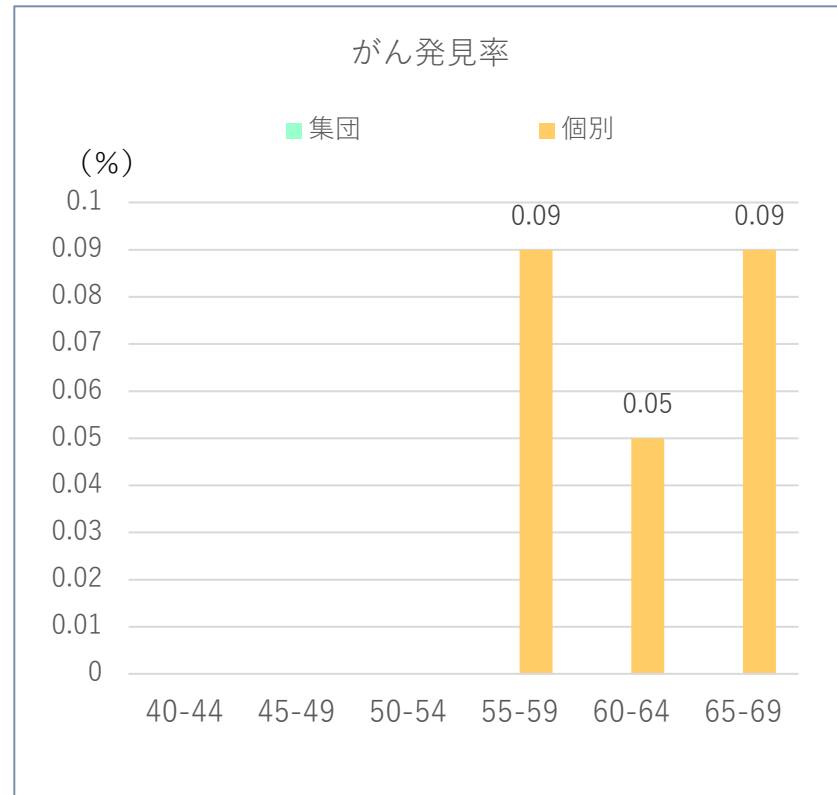
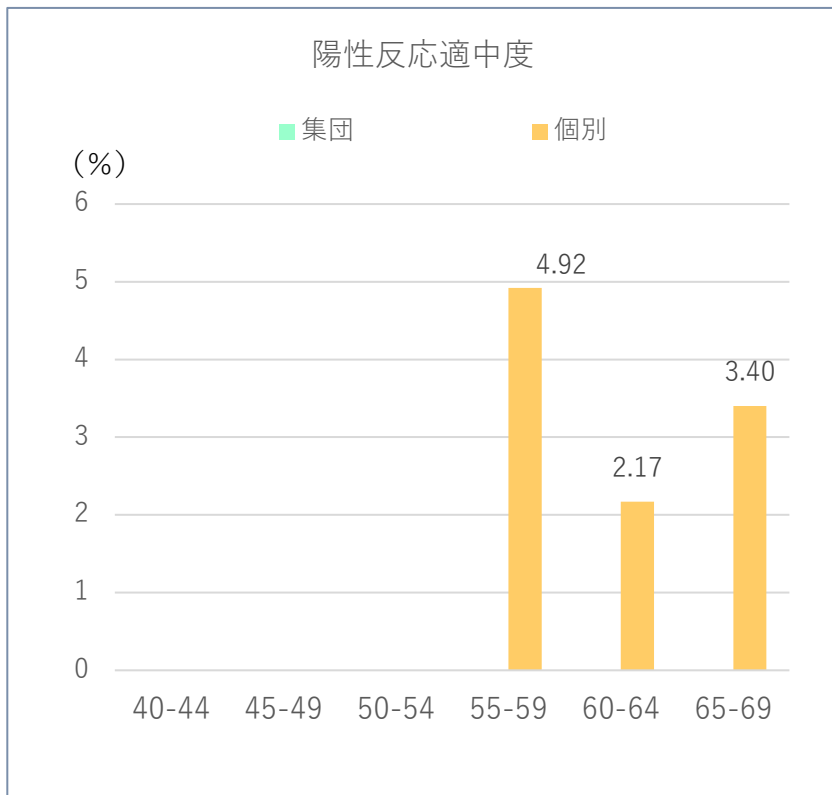


7) 年齢階級別の比較

- ▶ 要精検率は、集団検診、個別検診ともに、年齢が上昇するにつれて高くなる傾向がみられた。



8) 年齢階級別の比較



▶4.国の示す許容値及び目標値

各がん検診に関する事業評価指標とそれぞれの許容値及び目標値(案)

		乳がん	子宮頸がん	大腸がん	胃がん	肺がん
精検 受診率	許容値	80%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
要精検率(許容値)		11.0%以下	1.4%以下	7.0%以下	11.0%以下	3.0%以下
がん発見率(許容値)		0.23%以上	0.05%以上	0.13%以上	0.11%以上	0.03%以上
陽性反応適中度(許容値)		2.5%以上	4.0%以上	1.9%以上	1.0%以上	1.3%以上

H20年国立がん研究センター公表

見直し検討が行われ、R5に新しい指標値が公表された。

(新)事業評価指標値

第37回がん検診のあり方に関する検討会(R5.1.30)
資料3-2より抜粋

	胃がん (エックス線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん		
	2年間隔	1年間隔		検診以外 の受診を 考慮	連続受診 を考慮					
対象年齢	50-69歳		40-69歳	40-69歳		40-69歳		20-69歳	20-39歳	40-69歳
算出に用いた感度*	60%以上		60%以上	50%以上		40歳代：60%以上 50歳代：70%以上 60歳以上：80%以上		65%以上		
要精検率	7.1%以下	7.0%以下	6.2%以下	2.0%以下	2.0%以下	6.8%以下	6.8%以下	2.7%以下	4.2%以下	2.0%以下
	現在の許容値 11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率	90%以上									
がん発見率*	0.13%以上	0.08%以上	0.16%以上	0.06%以上	0.03%以上	0.38%以上	0.29%以上	0.16%以上	0.18%以上	0.15%以上
	現在の許容値 0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中度*	1.9%以上	1.1%以上	2.6%以上	3.0%以上	1.6%以上	5.5%以上	4.3%以上	5.9%以上	4.4%以上	7.4%以上
	現在の許容値 1.0%以上		0.19%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		
非初回受診者の 2年連続受診者割合**				肺がん指標		30%		40%		

*子宮頸がんはCIN3以上に対する値

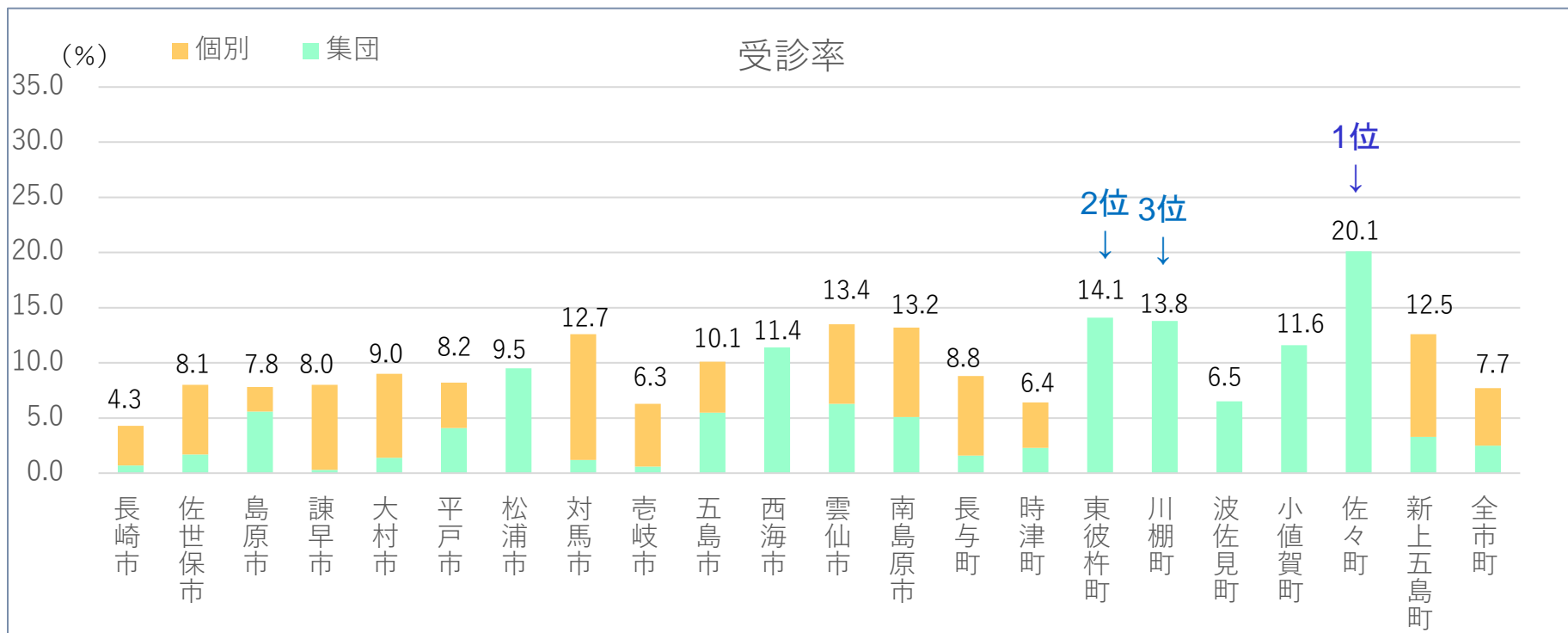
**国民生活基礎調査から算出したおおよその現状の値

▶5.精度管理(プロセス指標)の意味と解釈

1) 令和3年度市町別受診率

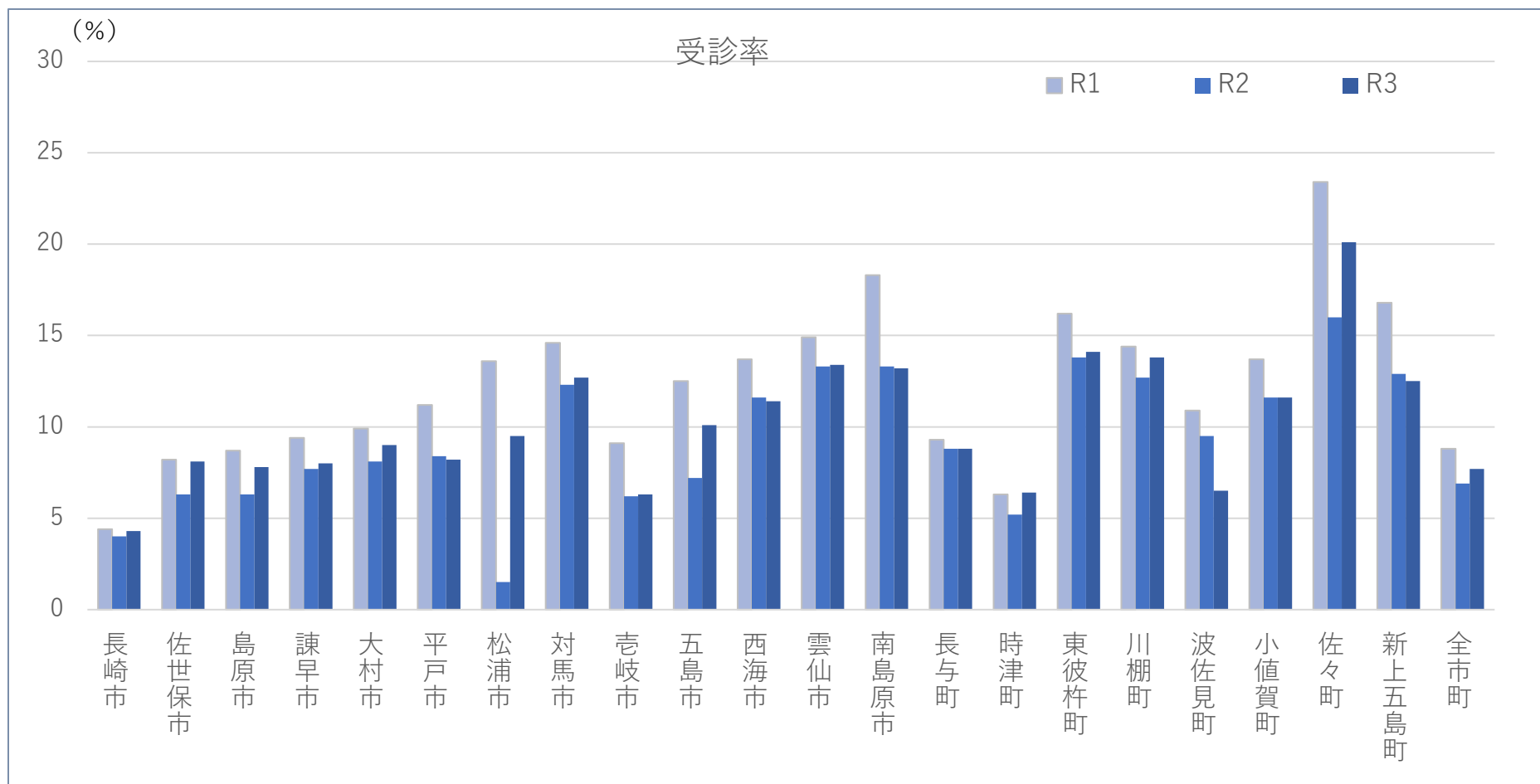
- ・受診者数／対象者数
- ・目的:がん検診の対象者のうち、実際の受診者の割合。受診率は高いことが望ましい。
- ・目標値: **50%以上**(第3期がん計画)

- 低い場合
- ・考えられる原因
受診勧奨が不十分
市町が地域のがん検診として実施した分のみ計上。
職域における受診者数は含まれていないことから、単純に比較することはできない。
- ・県全体として目標値を満たしていない。



2) 年度別市町別受診率

●前年度より増加している市町が多い



3) 令和2年度要精検率

- ・要精検者数／検診受診者数
- ・目的:精密検査の対象者が適切に選ばれているか

(旧)・許容値: 3.0%以下



(新)・基準値: 2.0%以下[40-69歳、1年間隔]

●高い場合

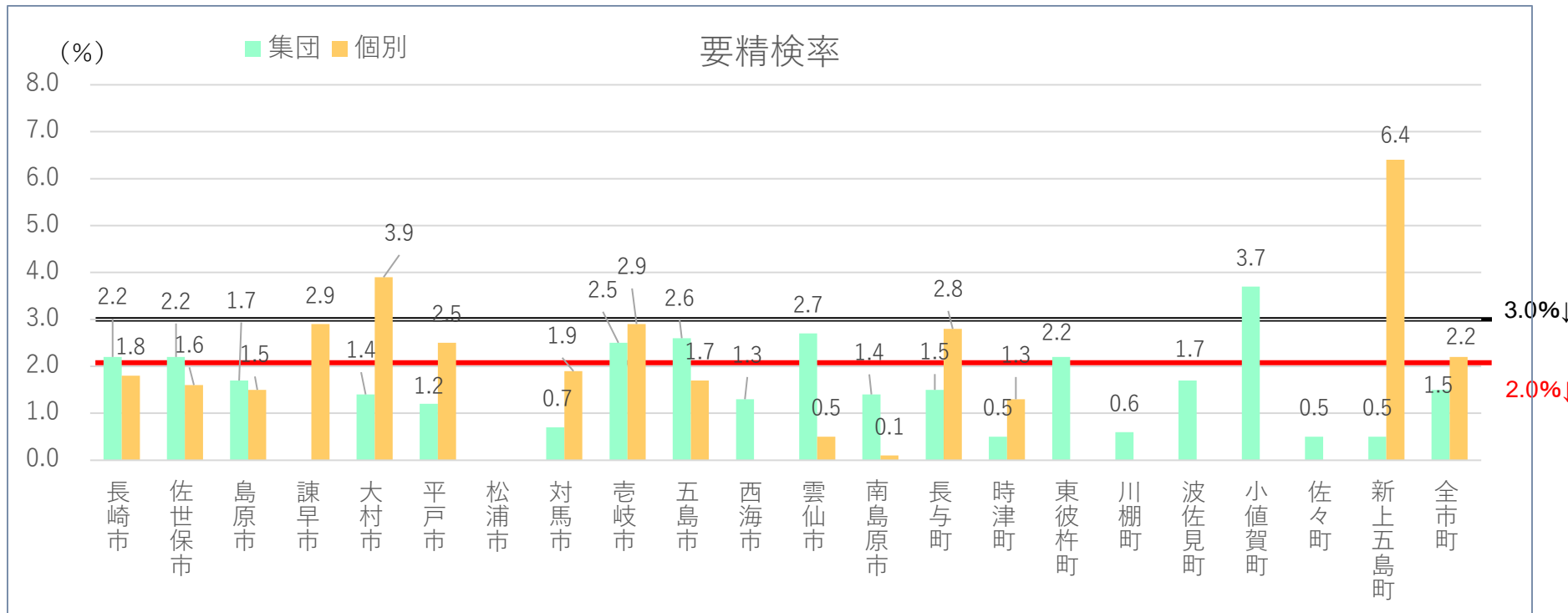
- ・考えられる原因

要精検者の計上は適切か。

撮影や読影の精度管理に問題の可能性がある。

有症状者が、がん検診を受診していないか。

- ・県全体として、集団は(新)基準値を満たしているが、個別は(旧)許容値は満たすが(新)基準値は満たしていない。



4) 令和2年度精検受診率

- ・精検受診者数／要精検者数
- ・目的: 要精検者が精密検査を受診したか
- ・高いほど良い。(精検受診率が100%近くなければ、
発見率を正しく評価できない)

(旧)・目標値: 90%以上 ・許容値: 70%以上

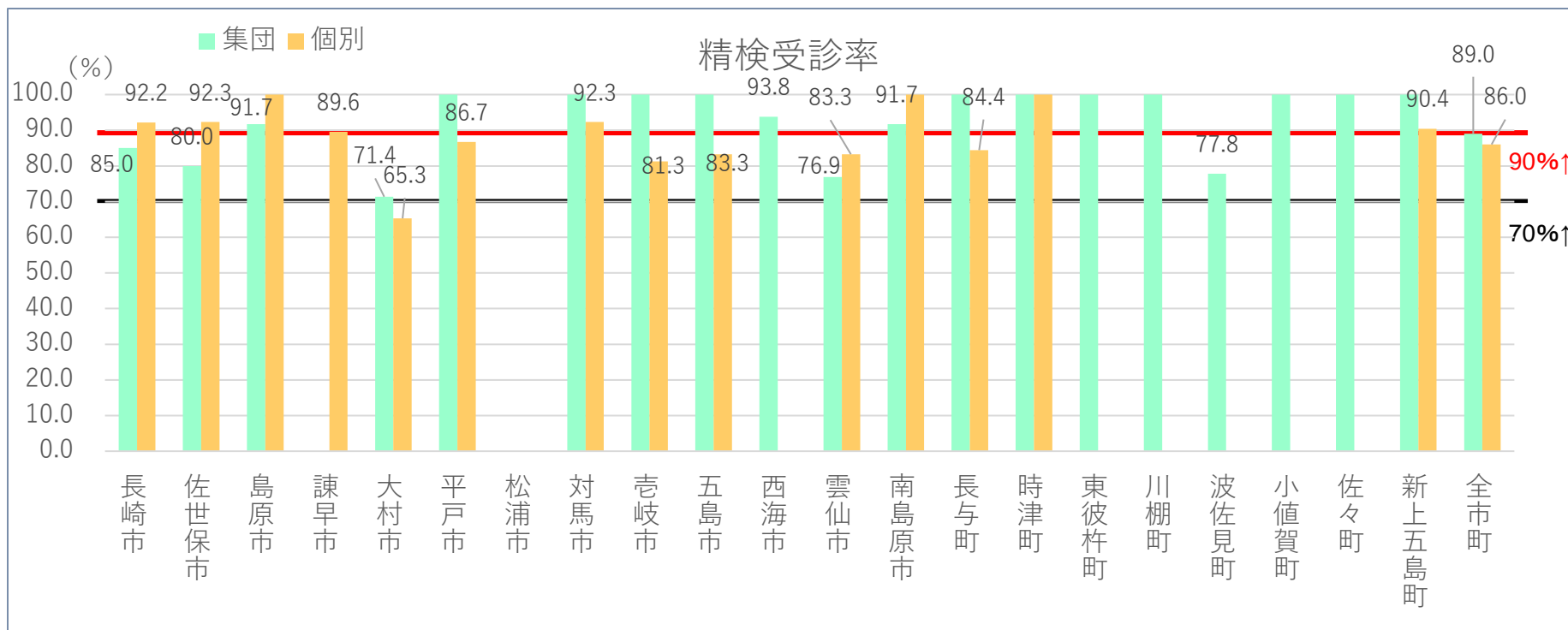


(新)・基準値: 90%以上〔40-69歳、1年間隔〕

●低い場合

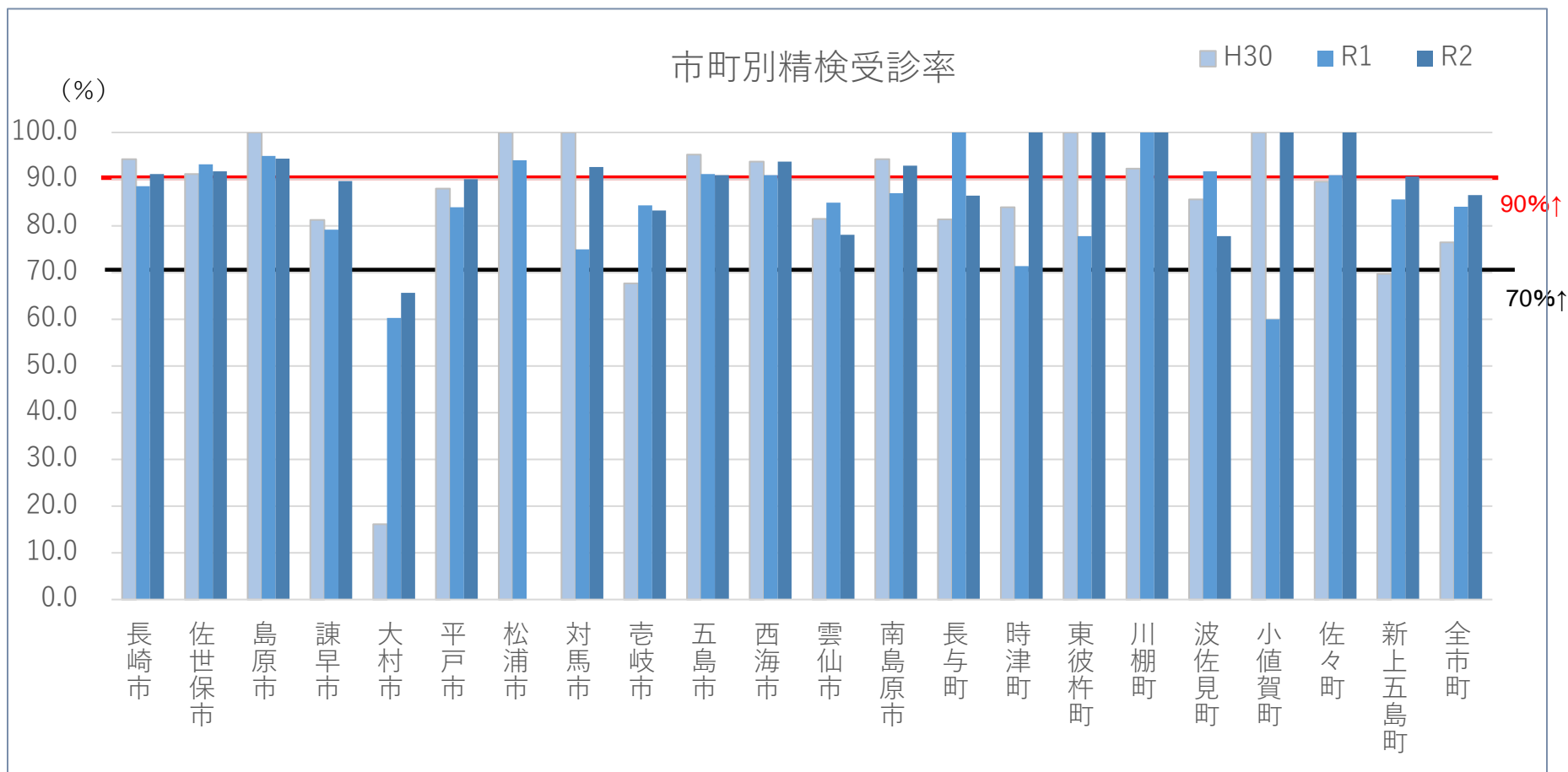
- ・考えられる原因
精検の受診勧奨が不十分。
精検受診の有無を市町が確実に把握できる体制が不十分。

- ・(新)基準値を満たせない市町が多い。
県全体として、集団も個別も、(旧)許容値は満たしているが
(新)基準値は満たしていない。



5) 年度別精検受診率

- 3年連続90%以上の市町:佐世保市・島原市・五島市・西海市・川棚町
- R2年100%の市町:時津町・東彼杵町・川棚町・小値賀町・佐々町
- R2年70%以下の市町:大村市



6) 令和2年度陽性反応適中度

- ・がんであった方の数／要精検者数
- ・目的: 検診で効率よくがんを発見されたかを測る

(旧)・許容値: 1.3%以上

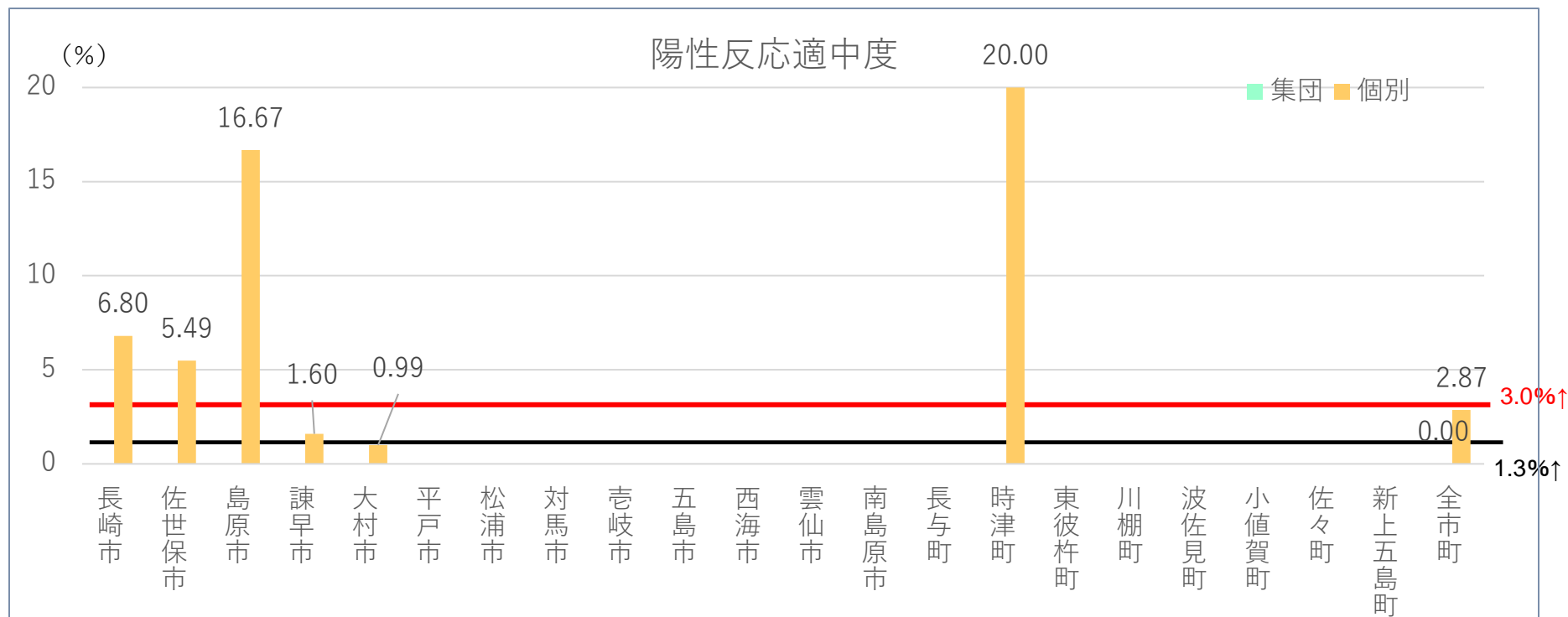


(新)・基準値: 3.0%以上[40-69歳、1年間隔]

- ・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

- ・県全体では、(旧)許容値を満たすが、(新)基準値は満たしていない。

- ・肺がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない肺がんが多くある。



7) 令和2年度がん発見率

- ・がんであった方の数／検診受診者数
- ・目的: その検診システムにおいて、適切な頻度でがんを発見できたか

(旧)・許容値: 0.03%以上

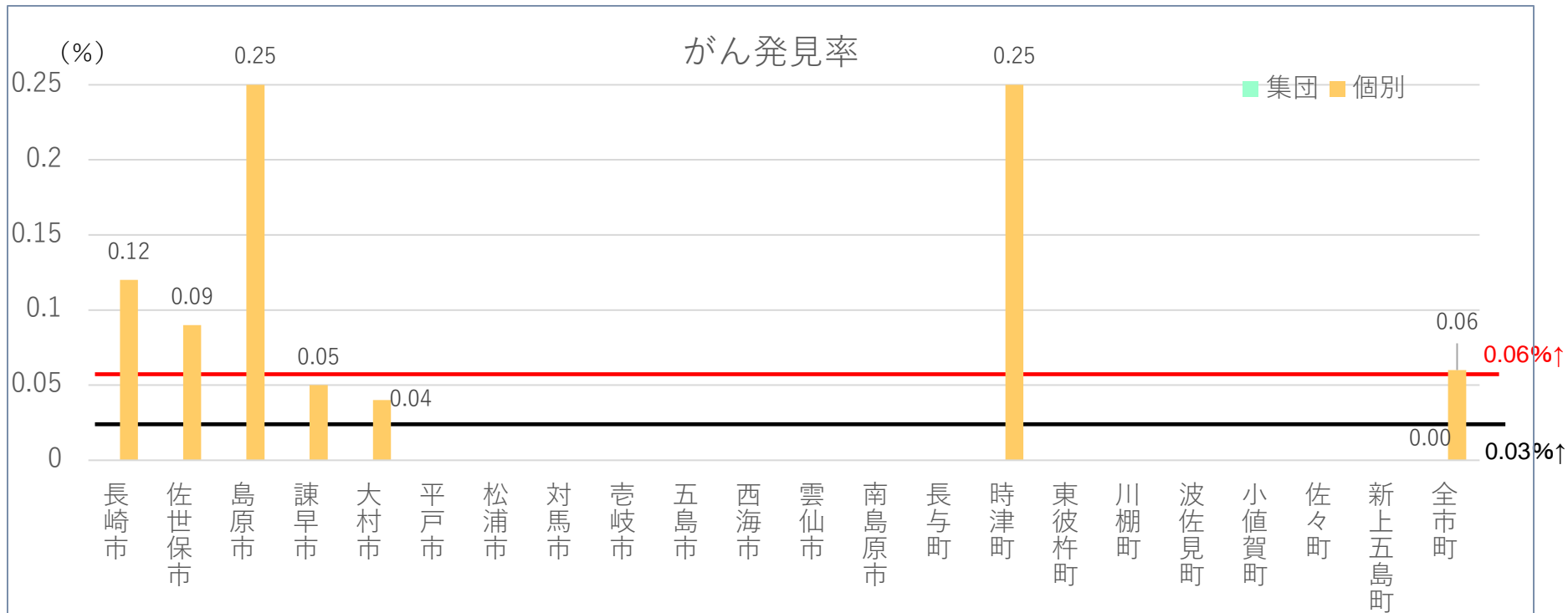
↓

(新)・基準値: 0.06%以上[40-69歳、1年間隔]

・人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。

・県全体では個別検診は、(新)基準値を満たしていた。

・肺がんは、70歳以上での発見数が多く、以下のグラフには反映されていない肺がんが多くある。



8) 令和2年度 偶発症

▶ 長崎県では偶発症は報告されていません。

【検診時もしくは検診後】

区分	性別	全て				喀痰(再掲)			
		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
個別	男	1	...	-	-	-	-
	女	2	...	-	-	-	-
	合計	3	...	-	-	-	-
合計	男	1	...	-	-	-	-
	女	2	...	-	-	-	-
	合計	3	...	-	-	-	-

【精密検査時もしくは精密検査後】

区分	性別	全て				喀痰(再掲)			
		全国		長崎県		全国		長崎県	
		偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)	偶発症確認	死亡数 (再掲)
集団	男	4	1	-	-	-	-
	女	5	...	-	-	-	-
	合計	9	1	-	-	-	-
個別	男	5	...	-	-	-	-
	女	-	-	-	-
	合計	5	...	-	-	-	-
合計	男	9	1	-	-	-	-
	女	5	...	-	-	-	-
	合計	14	1	-	-	-	-

6.まとめ

受診率、精検受診率について

- ▶ 受診率で目標値を満たしている市町はなかった。
精検受診率は、(新)基準値を満たせない市町が多かった。県全体として、集団・個別共に(旧)許容値は満たしているが(新)基準値は満たしていない。さらに向上させるためには、精密検査の受診勧奨を行うことに加えて、精検医療機関からの情報を、市町が適切に把握できるよう体制を整えることが必要である。

要精検率について

- ▶ 各市町、検診形態(集団、個別)によりばらつきがある。
県全体として、集団は(新)基準値を満たしている。個別は(旧)許容値は満たすが(新)基準値は満たしていない。

がん発見率、陽性反応適中度について

- ▶ 人口規模が異なるので、市町ごとに評価することは、困難である。
陽性反応適中度は、県全体で、(旧)許容値を満たすが、(新)基準値は満たしていない。
がん発見率は、県全体では個別検診は、(新)基準値を満たしていた。
また、70歳以上での発見数が多く、40～69歳の集計には反映されていない肺がんが多くある。